

# 長野医療衛生専門学校学則

## 目次

- 第1章 総則
- 第2章 学年、学期及び休業日
- 第3章 入学、再入学、編入学および転入学
- 第4章 教育課程及び履修
- 第5章 欠席、休学及び復学
- 第6章 転学科、転学、退学及び卒業
- 第7章 入学検定料、入学料、授業料等
- 第8章 教職員組織
- 第9章 会議
- 第10章 委員会
- 第11章 賞罰
- 第12章 健康管理
- 第13章 雑則

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 長野医療衛生専門学校（以下「本校」という）は、歯科医療、言語療法及び音楽療法に関する高度の知識及び技術を教授研究し、広く国民の保健医療の向上に寄与することのできる技術者を育成することを目的とする。

### (名称)

第2条 本校は、長野医療衛生専門学校と称する。

### (位置)

第3条 本校は、長野県上田市中央2丁目13番27号に置く。

2 本校の各学科は以下に置く。

- (1) 歯科衛生士学科 長野県上田市中央1丁目6番2号、同1丁目6番19号。
- (2) 言語聴覚士学科 同2丁目13番27号。
- (3) 音楽療法士学科 同3丁目8番1号。

### (課程及び学科の種類)

第4条 本校の課程は、医療職業実践専門課程とし、学科は歯科衛生士学科、言語聴覚士学科及び音楽療法士学科とする。

### (収容定員)

第5条 本校の収容定員は、次のとおりとし、各学年は1学級とする。

学 科 等	入学定員	総定数
歯科衛生士学科	28	84
言語聴覚士学科	30	120
音楽療法士学科	15	45

(修業年限)

第6条 本校の修業年限は、次のとおりとする。

学 科 等	修 業 年 限
歯科衛生士学科	3年
言語聴覚士学科	4年
音楽療法士学科	3年

(在学年限)

第7条 学生は、前条に定める修業年限の2倍を超えて在学することができない。

2 第14条の第1項より再入学、編入学したものは、同条第2項の規定により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

## 第2章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第8条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第9条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第10条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 土曜日
- (3) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (4) 春期休業・夏期休業・冬期休業・学年末休業（期間は校長が定めた日）
- (5) その他校長の定めた日

2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項にかかわらず、休業日に授業を行うことがある。

## 第3章 入学、再入学、編入学及び転入学

(入学等の時期)

第11条 入学（編入学及び転入学を含む）の時期は、学年の始めとする。

(入学の資格)

第12条 本校に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 学校教育法第90条第1項に掲げる者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (3) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格し、かつ18歳に達した者
- (4) その他本校において、個別の入学資格基準により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達している者

(入学者の選考)

第13条 入学を志願する者に対しては、学力検査及び面接試験を行い、その成績及び出身学校長の調査書等の成績を総合して選考し、教員会の議を経て校長が合格を決定する。

2 入学試験は一般入学試験、編入学試験、推薦入学試験及び、AO 入学試験とする

第14条 次の各号の一に該当する者で、本校の再入学、編入学または転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に再入学、編入学または転入学を許可することがある。

(1) 本校の他の学科を卒業した者

(2) 本校を第30条の規定により退学した者及び第42条第3項の規定により退学とされた者

(3) 歯科衛生士学科では、歯科衛生士を養成する学校に1年以上在籍し、必要単位を取得した者

(4) 言語聴覚士学科、音楽療法士学科では、大学に2年以上在籍し、かつ、62単位以上取得した者

2 前項の規定により再入学、編入学または転入学を許可された者が既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教員会の議を経て校長が決定する。

3 入学は、学年始めに限るものとする。

(入学等の出願)

第15条 本校に入学、編入学または転入学を志願する者は、次の各号の書類に検定料を添えて所定の期日までに願出しなければならない。

(1) 入学願書

(2) 写真(3カ月以内に撮影したもの)

(3) 出身高等学校長の調査書又はそれに相当する証明書

2 本校の再入学を志願する者は、本条1項の(1)及び(2)の書類に検定料を添えて所定の期日までに願出しなければならない。

(入学等の手続き及び許可)

第16条 第13条及び第14条の選考により合格した者は、所定の期日までに、入学料等を納付し、所定の手続きをしなければならない。

2 合格者は、第1保証人及び第2保証人連署の誓約書その他所定の手続き書類を期日までに提出しなければならない。

3 校長は、前項の手続きを完了したものに入学、再入学、編入学または転入学を許可する。

(保証人)

第17条 保証人は2名とし、第1保証人は保護者若しくは学費出資者とし、第2保証人は日本国内に居住し、独立の生計を営む成年者でなければならない。

第4章 教育課程及び履修

(授業日時数)

第18条 本校の授業日時数は、下記の日時数を基準とする。

学 科	歯科衛生士学科			言語聴覚士学科				音楽療法士学科		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年
年間授業日数	182日	170日	150日	177日	188日	186日	185日	176日	180日	182日
週間授業時間数	40時間	40時間	40時間	40時間	40時間	40時間	40時間	40時間	40時間	40時間
週間授業日数	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日

2 前項の授業日時数は、学科により変更することがある。

(始業終業の時刻)

第19条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

午前8時50分～午後5時50分

- 2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項にかかわらず、時間外に授業を行うことがある。

(教育課程及び必要単位数並びに単位計算の基準)

第20条 本校における授業科目及びその単位数並びに卒業に要する単位数は、別表による。

- 2 各授業科目の単位計算の基準は、別表のとおりとする。
- 3 校長は、必要があると認めるときは、課外科目を追加することができる。

(授業科目)

第21条 本校において開設される授業科目は、これを必修及び選択科目とし、履修方法については、学則に定めるもののほか、細則第8条に定める。

(他学科の授業科目の履修等)

第22条 本校の学生は、所定の手続きを経て、他の学科の授業科目を履修し、又は聴講することができる。

(授業科目履修の認定)

第23条 授業科目の履修に関しては、授業時間数の3分の2以上出席し、試験に合格した者に、所定の単位を与える。ただし平素の学習状況又は論文等をもって試験に代えることができる。

- 2 試験の成績の評価は、秀、優、良、可又は不可とし、秀、優、良及び可を合格とする。
- 3 前項の秀は90点、優は80点、良は70点、可は60点割を基準とし、総合的な評価を行う。

## 第5章 欠席、休学及び復学

(欠席)

第24条 学生は、病気その他の事由により欠席した場合は、その理由を明記した欠席届を5日以内に提出しなければならない。

- 2 病気による欠席が10日以上に及んだ場合には、医師の診断書を添えなければならない。

(休学)

第25条 学生は、病気その他やむを得ない理由のため、3カ月以上修学不能となった場合は医師の診断書又は明確な理由書を添えて、保証人連署のうえ、休学願を提出して校長の許可を得なければならない。

- 2 病気のため修学することが適当でないと認められる者に対しては、校長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第26条 休学期間は、引き続き1年を超えることができない。ただし、特別な理由があると認められる者には1年を超えて許可することがある。

- 2 休学期間は通算して歯科衛生士学科は3年、言語聴覚士学科は4年、音楽療法士学科は3年を超えることができない。
- 3 休学期間は、在学期間に算入しない。

(復学)

第27条 前条の規定により休学を許可された者が、休学期間満了又は休学期間内にその理由が中止した場合は、保証人連署のうえ復学願を提出し、校長の許可を得なければならない。

- 2 前項において、病気のため休学を許可された者は、医師の診断書を添えて願い出なければならない。
- 3 前2項の願いを提出し、許可された者は、原学年に復学する。

## 第6章 転学科、転学、退学及び卒業

(転学科)

第28条 転学科は原則として認めない。

(転学)

第29条 他の学校に転学しようとするものは、理由を記載した書面を添えて、その許可を願い出なければならない。

(退学)

第30条 病気その他やむを得ない理由により退学しようとする者は、保証人連署のうえ理由を明記した退学願を提出し、校長の許可を得なければならない。

(進級、卒業)

第31条 進級及び卒業の認定は、試験の成績、実習の評価、出欠席状況等について評定のうえ、教員会の議を経て、校長が行う。

(卒業証書)

第32条 校長は、所定の学科課程を修了したと認める者に次の称号を付与し、卒業証書を授与する。

学 科 等	称 号
歯科衛生士学科	専門士
言語聴覚士学科	高度専門士
音楽療法士学科	専門士

## 第7章 入学検定料、入学金及び授業料等

(入学検定料、入学金及び授業料)

第33条 入学検定料、入学金及び授業料等については、次のとおりとする。

納 付 金 区 分	歯科衛生士学科	言語聴覚士学科	音楽療法士学科	備 考
入 学 検 定 料	22,000 円	22,000 円	22,000 円	出願時
入 学 金	200,000 円	200,000 円	200,000 円	初年度
授 業 料	450,000 円	750,000 円	600,000 円	年度ごと
実 験 実 習 費	100,000 円	200,000 円	150,000 円	年度ごと
施 設 設 備 費	100,000 円	200,000 円	200,000 円	年度ごと
合 計	872,000 円	1,372,000 円	1,172,000 円	初年度

2 上記以外として、教材費、研修旅行費、実習材料費、白衣費等は実費にて徴収とする。

3 休学を許可された者の学納金は、休学期間中は納入しなくてもよい。

4 停学に処せられた者の学納金は、停学期間中も納入しなければならない。

(納入金の還付)

第34条 既納の入学検定料、入学金及び授業料等は、原則として返還しない。ただし、校長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することがある。

(学費支援)

第35条 学費支援については、別に規程を定める。

## 第8章 教職員組織

(教職員)

第36条 本校に次の教職員を置く。

	歯科衛生士学科	言語聴覚士学科	音楽療法士学科
校長	1名		
学科長	1名	1名	1名
専任教員	3名	4名	3名
事務長	1名		
事務職員	1名	1名	1名（専任教員が兼務）
学校医	1名		

- 2 校長は校務を処理し、所属職員を監督する。
- 3 校長は、必要があると認めるときは、副校長を置くことができる。
- 4 校長は、必要があると認めるときは、非常勤職員を置くことができる。

## 第9章 会議

(会議)

第37条 本校に次の会議を置く。

- (1) 学校経営会議
- (2) 管理職会議
- (3) 教員会
- (4) 教科会

## 第10章 委員会

(学校関係者評価委員会)

第38条 本校に学校関係者評価委員会を置く。自己評価とともに学校関係者の評価を通して、本校の学校運営並びに教育活動の向上を図る。

(教育課程編成委員会)

第39条 本校に教育課程編成委員会を置く。病院・学校・施設・学会等と連携し、職業に必要な実践的・専門的な教育課程を編成し、授業や実習の方法の改善・工夫に努める。

## 第11章 賞罰

(表彰)

第40条 校長は、学業、品行共に優秀で他の模範となる学生を表彰することができる。

(除籍)

第41条 学生で次の各号の一に該当する者は、教員会の議を経て校長はこれを除籍する。

- (1) 病気その他の理由により、成業の見込みがないと認められる者。
- (2) 第7条に規定する在学年限を超えた者。
- (3) 授業料等の納付を怠り、督促をしてもなお納入しない者。
- (4) 第26条の第2項に規定する休学期間を超えてなお復学できない者。
- (5) 行方不明者については、第7条の規定をもって除籍できるものとする。

(懲戒)

第42条 本校の学則及びその他の規則に違反し、又は学生の本分に反する行為があった者は、教員会の議を経て、校長はこれを懲戒する。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 次の各号の一に該当する者には、退学を命ずることがある。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者。

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められた者。

(3) 正当の理由がなくて欠席が長期にわたる者。

(4) 本校の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者。

## 第12章 健康管理

(健康診断)

第43条 学生は、校長の指定した期日に年1回の健康診断を受けなければならない。

## 第13章 雑則

(身分等変更の届け出)

第44条 学生は、本人又は保証人の身分、住所その他に変更があった場合は、7日以内に学校長に届けなければならない。

(補則)

第45条 この学則に定めるほか、この学則に関し必要な事項は規程、細則及び内規に定める。

## 附 則

1 この学則は、1997年4月1日から施行する。

2 この学則は、2001年4月1日から施行する。

3 この学則の施行について必要な事項は、校長が別に定める。

4 この学則は、2002年4月1日から施行する。

5 この学則は、2007年4月1日から施行する。

6 この学則は、2008年4月1日から施行する。

7 この学則は、2009年4月1日から施行する。

8 この学則は、2010年4月1日から施行する。

ただし、平成21年度までに入学した歯科衛生士学科の者は、就業年は2年、教育課程及び授業時間は改定前のものとする。

9 この学則は、2012年4月1日から施行する。

10 この学則は、2012年10月1日から施行する。

11 この学則は、2013年4月1日から施行する。

12 この学則は、2014年4月1日から施行する。

13 この学則は、2015年4月1日から施行する。

14 この学則は、2016年4月1日から施行する。

15 この学則は、2017年4月1日から施行する。

ただし、平成28年度までに入学した者については、従前の例によるものとする。

16 この学則は、2019年4月1日から施行する。

ただし、平成30年度までに入学した者については、従前の例によるものとする。

17 この学則は、2020年4月1日から施行する。

ただし、令和元年度までに入学した者については、従前の例によるものとする。



歯科衛生士学科 課程表 ( 全学年 )

医療職業実践専門課程										
歯科衛生士学科										
科 目		授業1単位=15時間 実習1単位=30時間 臨地実習1単位=45時間						単位		
		講義	実習	臨地実習	1年次	2年次	3年次		計	
基礎分野	科学的思考の基盤	生 物 学	○			30			30	2
		化 学	○			30			30	2
	人間と生活	心 理 学	○				30		30	2
		倫 理 学	○			30			30	2
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	○				30		30	2
英 語	○			60			60	4		
小 計					150	60	0	210	14	
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	解 剖 学	○			30			30	2
		組 織 学	○			30			30	2
		生 理 学	○			30			30	2
		生 化 学	○			30			30	2
	歯・口腔の構造と機能	口 腔 解 剖 学	○			30			30	2
		歯 牙 解 剖 学	○			30			30	2
		口 腔 組 織 学	○			30			30	2
	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	微 生 物 学	○			30			30	2
		薬 理 学	○			30			30	2
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	衛 生 公 衆 衛 生 学	○			30			30	2
		衛 生 統 計 学	○			30			30	2
		口 腔 衛 生 学	○			30			30	2
		栄 養 学 I	○			30			30	2
栄 養 学 II		○				30		30	2	
衛 生 行 政 ・ 社 会 福 祉	○				30		30	2		
小 計					390	90	0	480	32	
専門分野	歯科衛生士概論	歯 科 衛 生 学 総 論	○			30			30	2
	臨床歯科医学	歯 科 臨 床 概 論	○			30			30	2
		歯 保 存 修 復 論	○			30			30	2
		歯 歯 髓 疾 患 論	○				30		30	2
		歯 周 療 法 学 I	○			30			30	2
		歯 周 療 法 学 II	○				30		30	2
		歯 科 補 綴 学	○				30		30	2
		口 腔 外 科 学	○			30			30	2
		小 児 歯 科 学	○			30			30	2
		歯 科 矯 正 学	○				30		30	2
		高 齢 者 歯 科 学 I	○			30			30	2
	高 齢 者 歯 科 学 II	○				30		30	2	
	障 害 者 歯 科 学	○				30		30	2	
	歯 科 放 射 線 学	○			30			30	2	
	歯科予防処置論	歯 科 予 防 処 置 法 I ①	○			60			60	4
		歯 科 予 防 処 置 法 I ②	○	○		60			60	2
		歯 科 予 防 処 置 法 II ①	○				60		60	4
		歯 科 予 防 処 置 法 II ②	○	○			60		60	2
		歯 科 予 防 処 置 法 III	○					30	30	2
	歯科保健指導論	歯 科 保 健 指 導 I ①	○			30			30	2
		歯 科 保 健 指 導 I ②	○	○		30			30	1
		歯 科 保 健 指 導 II ①	○				30		30	2
		歯 科 保 健 指 導 II ②	○	○			30		30	1
		歯 科 保 健 指 導 III	○					30	30	2
	栄 養 指 導	○				30		30	2	
	歯科診療補助論	歯 科 診 療 補 助 法 I ①	○			60			60	4
		歯 科 診 療 補 助 法 I ②	○	○		60			60	2
歯 科 診 療 補 助 法 II ①		○				60		60	4	
歯 科 診 療 補 助 法 II ②		○	○			60		60	2	
歯 科 診 療 補 助 法 III		○					30	30	2	
歯 科 材 料 学		○			30			30	2	
臨地実習 (臨地実習を含む)	臨 床 実 習 I			○		315		315	7	
	臨 床 実 習 II			○			405	405	9	
	臨 地 実 習			○			180	180	4	
小 計					570	855	675	2100	90	
選択必修分野	総合科目	看 護 学	○				30		30	2
		リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 論	○				30		30	2
		口 腔 機 能 ・ 摂 食 機 能 訓 練 法	○				30		30	2
		医 療 保 険 事 務 学	○			30			30	2
		歯 科 総 合	○					210	210	14
小 計					30	90	210	330	22	
合 計					1140	1095	885	3120	158	



言語聴覚士学科 課程表(1、2、3年生 4年編入生)

医療専門課程											
科目 区分	授業科目	講義	演習	実習	授業・演習1単位=22.5時間 実習1単位=40時間				計	単位	
					1年次	2年次	3年次	4年次			
基礎分野	文章読解	○				30				30	1
	ライティング	○				30				30	1
	コミュニケーション学	○				30				30	1
	倫理学	○				30				30	1
	経済学	○				30				30	1
	医療事務	○				30				30	1
	科学Ⅰ	○				30				30	1
	科学Ⅱ	○				30				30	1
	科学Ⅲ	○				30				30	1
	統計学	○				30				30	1
	基礎英語Ⅰ	○				30				30	1
	基礎英語Ⅱ	○				30				30	1
	医学英語Ⅰ	○					30			30	1
	医学英語Ⅱ	○					30			30	1
体育実技Ⅰ			○		30					30	1
体育実技Ⅱ			○		30					30	1
					390	90	0	0		480	16
専門基礎分野	医学総論Ⅰ	○			30					30	1
	医学総論Ⅱ	○			30					30	1
	解剖学Ⅰ	○			30					30	1
	解剖学Ⅱ	○			30					30	1
	生理学Ⅰ	○			30					30	1
	生理学Ⅱ	○			30					30	1
	病理学	○			30	30				30	1
	内科学Ⅰ	○			30					30	1
	内科学Ⅱ	○			0	30				30	1
	小児科学	○				30				30	1
	精神医学	○					30			30	1
	リハビリテーション医学	○				30				30	1
	臨床神経学	○					30			30	1
	耳鼻咽喉科学	○					30			30	1
	形成外科学	○					30			30	1
	臨床歯科医学Ⅰ	○			30					30	1
	臨床歯科医学Ⅱ(口腔外科学)	○					30			30	1
	呼吸発声発語系の構造、機能、病態	○					30			30	1
	聴覚系の構造、機能、病態	○			30					30	1
	神経系の構造、機能、病態	○				30				30	1
	認知心理学	○				30				30	1
	学習心理学	○			30					30	1
	臨床心理学Ⅰ	○					30			30	1
	臨床心理学Ⅱ	○					30			30	1
	心理測定法	○					30			30	1
	生涯発達心理学Ⅰ	○						30		30	1
	生涯発達心理学Ⅱ	○						30		30	1
	言語学Ⅰ	○			30					30	1
	言語学Ⅱ	○			30					30	1
	音声学Ⅰ	○			30					30	1
	音声学Ⅱ	○			30					30	1
	音響学Ⅰ	○			30					30	1
	音響学Ⅱ(聴覚心理学)	○			30					30	1
	言語発達学Ⅰ	○			30					30	1
言語発達学Ⅱ	○			30					30	1	
社会保障制度/関係法規Ⅰ	○					30			30	1	
社会保障制度/関係法規Ⅱ	○						30		30	1	
リハビリテーション概論	○							30	30	1	
					570	360	180	30		1140	38
専門分野	言語聴覚障害学総論Ⅰ	○			30					30	1
	言語聴覚障害学総論Ⅱ	○			30					30	1
	言語聴覚障害学診断学 総論Ⅰ	○	○				30			30	1
	言語聴覚障害学診断学 総論Ⅱ	○	○				30			30	1
	言語聴覚障害学診断学 実習指導Ⅰ	○	○			60				60	2
	言語聴覚障害学診断学 実習指導Ⅱ	○	○				120			120	4
	言語聴覚障害学診断学 実習指導Ⅲ	○	○					120		120	4
	失語症Ⅰ	○				30				30	1
	失語症Ⅱ	○				30				30	1
	失語症Ⅲ	○					30			30	1
	失語症Ⅳ	○					30			30	1
	高次脳機能障害Ⅰ	○				30				30	1
	高次脳機能障害Ⅱ	○					30			30	1
	言語発達障害学総論Ⅰ	○			30					30	1
	言語発達障害学総論Ⅱ	○			30					30	1
	言語発達障害学(CP)	○					30			30	1
	言語発達障害学Ⅰ(評価・指導・訓練)	○	○		30					30	1
	言語発達障害学Ⅱ(AAC含む)	○					30			30	1
	言語発達障害学Ⅲ(AAC含む)	○					30			30	1
	器質性構音障害	○				30				30	1
	機能的構音障害	○				30				30	1
	吃音	○				30				30	1
音声障害	○					30			30	1	
運動障害性構音障害Ⅰ	○				30				30	1	
運動障害性構音障害Ⅱ	○					30			30	1	
専門分野	嚥下障害Ⅰ	○				30				30	1
	嚥下障害Ⅱ	○				30				30	1
	嚥下障害Ⅲ	○	○				30			30	1
	嚥下障害Ⅳ	○	○				30			30	1
	聴覚障害Ⅰ(小児・成人)	○			30					30	1
	聴力検査Ⅰ	○			30					30	1
	聴力検査Ⅱ	○	○		30					30	1
	聴覚障害Ⅱ(疾患学)	○						30		30	1
	小児聴覚障害演習	○	○			30				30	1
	視覚・聴覚二重障害	○						30		30	1
	聴力検査・補聴器	○	○		30					30	1
見学実習			○				40		40	1	
評価実習			○				120		120	3	
病院実習			○					320	320	8	
					150	480	640	500		1770	55
選択必修科	マナー講座	○	○						30	30	1
	口腔ケア学	○	○					30	0	30	1
	福祉実習			○		160	40			200	5
	国家試験対策講座Ⅰ	○					120			120	4
	国家試験対策講座Ⅱ	○							360	360	12
					0	160	190	390		740	23
					1110	1090	1010	920		4130	132

言語聴覚士学科 課程表(4年生)

医療専門課程										
言語聴覚士学科										
科目区分	授業科目	講義	演習	実習	授業・演習1単位=22.5時間 実習1単位=40時間				計	単位
					1年次	2年次	3年次	4年次		
基礎分野	音楽	○					30		30	1
	文章読解	○							30	1
	ライティング	○				30	30		30	1
	コミュニケーション学	○				30			30	1
	倫理学	○				30			30	1
	経済学	○				30			30	1
	医療事務	○				30			30	1
	科学Ⅰ	○				30			30	1
	科学Ⅱ	○				30			30	1
	統計学	○				30			30	1
	基礎英語Ⅰ	○				30			30	1
	基礎英語Ⅱ	○				30			30	1
	医学英語Ⅰ	○					30		30	1
	医学英語Ⅱ	○					30		30	1
体育実技Ⅰ			○		30			30	1	
体育実技Ⅱ			○		30			30	1	
					360	90	30	0	480	16
専門基礎分野	医学総論Ⅰ	○			30				30	1
	医学総論Ⅱ	○			30				30	1
	解剖学Ⅰ	○			30				30	1
	解剖学Ⅱ	○			30				30	1
	生理学Ⅰ	○			30				30	1
	生理学Ⅱ	○			30				30	1
	病理学	○				30			30	1
	内科学Ⅰ	○			30				30	1
	内科学Ⅱ	○			30				30	1
	小児科学	○				30			30	1
	精神医学	○					30		30	1
	リハビリテーション医学	○					30		30	1
	臨床神経学	○					30		30	1
	耳鼻咽喉科学	○					30		30	1
	形成外科学	○					30		30	1
	臨床歯科医学Ⅰ	○			30				30	1
	臨床歯科医学Ⅱ(口腔外科学)	○					30		30	1
	呼吸発声発語系の構造,機能,病態	○				30			30	1
	聴覚系の構造,機能,病態	○			30				30	1
	神経系の構造,機能,病態	○				30			30	1
	認知心理学	○					30		30	1
	学習心理学	○			30				30	1
	臨床心理学Ⅰ	○					30		30	1
	臨床心理学Ⅱ	○					30		30	1
	心理測定法	○					30		30	1
	生涯発達心理学Ⅰ	○						30	30	1
	生涯発達心理学Ⅱ	○						30	30	1
	言語学Ⅰ	○			30				30	1
	言語学Ⅱ	○			30				30	1
	音声学Ⅰ	○			30				30	1
	音声学Ⅱ	○			30				30	1
	音響学Ⅰ	○			30				30	1
	音響学Ⅱ(聴覚心理学)	○			30				30	1
	言語発達学Ⅰ	○			30				30	1
言語発達学Ⅱ	○			30				30	1	
社会保障制度/関係法規Ⅰ	○				30			30	1	
社会保障制度/関係法規Ⅱ	○						30	30	1	
リハビリテーション概論	○			30				30	1	
				600	330	180	30	1140	38	
専門分野	言語聴覚障害学総論Ⅰ	○			30				30	1
	言語聴覚障害学総論Ⅱ	○			30				30	1
	言語聴覚障害学診断学 総論Ⅰ	○	○				30		30	1
	言語聴覚障害学診断学 総論Ⅱ	○	○				30		30	1
	言語聴覚障害学診断学 実習指導Ⅰ	○	○			60			60	2
	言語聴覚障害学診断学 実習指導Ⅱ	○	○				120		120	4
	言語聴覚障害学診断学 実習指導Ⅲ	○	○					120	120	4
	失語症Ⅰ	○					30		30	1
	失語症Ⅱ	○					30		30	1
	失語症Ⅲ	○						30	30	1
	失語症Ⅳ	○						30	30	1
	高次脳機能障害Ⅰ	○					30		30	1
	高次脳機能障害Ⅱ	○						30	30	1
	言語発達障害学総論Ⅰ	○				30			30	1
	言語発達障害学総論Ⅱ	○				30			30	1
	言語発達障害学(CP)	○						30	30	1
	言語発達障害学Ⅰ(評価・指導・訓練)	○	○				30		30	1
	言語発達障害学Ⅱ(AAC含む)	○						30	30	1
	言語発達障害学Ⅲ(AAC含む)	○						30	30	1
	器質性構音障害	○					30		30	1
	機能性構音障害	○					30		30	1
	吃音	○					30		30	1
	音声障害	○						30	30	1
	運動障害性構音障害Ⅰ	○					30		30	1
運動障害性構音障害Ⅱ	○						30	30	1	
専門分野	嚥下障害Ⅰ	○					30		30	1
	嚥下障害Ⅱ	○					30		30	1
	嚥下障害Ⅲ	○	○					30	30	1
	嚥下障害Ⅳ	○	○					30	30	1
	聴覚障害Ⅰ(小児・成人)	○			30				30	1
	聴力検査Ⅰ	○			30				30	1
	聴力検査Ⅱ	○	○		30				30	1
	聴覚障害Ⅱ(疾患学)	○						30	30	1
	小児聴覚障害演習	○	○			30			30	1
	視覚・聴覚二重障害	○						30	30	1
聴力検査・補聴器	○		○		30			30	1	
見学実習				○			40	40	1	
評価実習				○			120	120	3	
病院実習				○				320	8	
				150	480	640	500	1770	55	
選択必修	マナー講座	○	○					30	30	1
	口腔ケア学	○	○					30	30	1
	福祉実習			○		160	40	200	5	
	国家試験対策講座Ⅰ	○					120	120	4	
							360	360	12	
				0	160	160	420	740	23	
				1110	1060	1010	950	4130	132	



音楽療法士学科 課程表 (1年生)

医療職業実践専門課程										
音楽療法士学科 ※授業1単位=15時間、実技・演習1単位=30時間、技能・実習1単位=45時間										
	科目名	授業分類			授業時間数				単位	
		講義	実技	実習	1年次	2年次	3年次	計		
音楽分野	必修	音楽通論	○			60			60	4
		和声学	○				60		60	2
		音楽心理学	○			30			30	2
		日本の音楽	○			60			60	2
	選択	編曲	○					30	30	2
		伴奏法		○				30	30	2
		西洋音楽史	○				60		60	2
		日本音楽史	○				30		30	2
	必修実技	ソルフェージュ		○		60			60	2
		ピアノI		○		60			60	2
		声楽I		○		60			60	2
		器楽I		○		30	30		60	2
		合唱I		○		60			60	2
		合奏I		○		60			60	2
指揮法			○		30			30	2	
選択実技		ギター		○			30		30	2
リズムク		○				60		60	2	
小計					510	270	60	840	36	
音楽療法分野	必修理論	音楽療法概論	○			60			60	2
		音楽療法の理論と技法I		○			30		30	2
	必修基礎	音楽療法の理論と技法II		○			30		30	2
		音楽療法各論I	○				30		30	2
		音楽療法各論II	○				30		30	2
	必修臨床	音楽療法各論III	○					30	30	2
		技能I		○		90			90	2
		技能II		○			90		90	2
	必修技能	技能III		○				90	90	2
		実習I・演習I			○		45	45	90	2
		実習II・演習II			○			90	90	2
	必修演習・実習	実習III・演習III			○		45	45	90	2
実習IV				○	30	30	30	90	2	
卒業論文		○					60	60	4	
小計					180	330	390	900	30	
医学分野・心理学	必修	医学概論	○			30			30	2
		臨床医学各論I	○				30		30	2
		臨床医学各論II	○					30	30	2
		臨床心理学I	○				30		30	2
		臨床心理学II	○				30		30	2
	小計					30	90	30	150	10
福祉・教育分野	必修	社会福祉概論	○				60		60	2
		発達心理学	○					30	30	2
		障害児教育	○				30		30	2
		介護概論(介護職員初任者研修)	○	○	○	120			120	4
小計					120	90	30	240	10	
語学	必修	英語I	○			60			60	2
		英語II	○				60		60	2
	選択	英語III	○					60	60	2
		オーラルコミュニケーション	○					60	60	2
		小計					60	60	120	240
その他	選択	キャリアデザイン			○			60	60	2
		体育		○		60			60	2
		教育原理	○				30		30	2
		ライティング	○					30	30	2
		ピアノII		○			60		60	2
		特別活動		○				30	30	2
		音楽療法士補対策	○					60	60	2
		論文輪講	○					30	30	2
		声楽II		○			60		60	2
		器楽II		○			60		60	2
		合唱II		○			60		60	2
		合唱III		○				60	60	2
		合奏II		○			60		60	2
		合奏III		○				60	60	2
		応接・マナー	○	○				30	30	2
		保育士対策	○				30		30	2
		特別講義	○					30	30	2
小計					60	360	390	810	34	
合計					960	1200	1020	3180	128	

※「選択」は日本音楽療法学会で示された科目内で、本学で開講している必修授業を表す

音楽療法士学科 課程表 (2年生)

医療職業実践専門課程										
音楽療法士学科 ※授業1単位=30時間										
	科目名	授業分類			授業時間数			単位		
		講義	実技	実習	1年次	2年次	3年次		計	
音楽分野	必修	音楽通論	○			60	60		120	4
		和声学	○					60	60	2
		音楽心理学	○				60		60	2
		日本の音楽	○			60			60	2
	選択	編曲	○					60	60	2
		伴奏法		○				60	60	2
		西洋音楽史	○			60			60	2
		日本音楽史	○					60	60	2
	必修実技	ソルフェージュ		○		60			60	2
		ピアノI		○		60			60	2
		声楽I		○		60			60	2
		器楽I		○		30	30		60	2
		合唱I		○		60			60	2
		合奏I		○		60			60	2
		指揮法		○			60		60	2
選択実技	ギター		○		30	30		60	2	
	リトミック		○		60			60	2	
小計					600	240	240	1080	36	
音楽療法分野	必修理論	音楽療法概論	○			60			60	2
	必修基礎	音楽療法の理論と技法I		○		60			60	2
		音楽療法の理論と技法II		○			60		60	2
	必修臨床	音楽療法各論I	○			60			60	2
		音楽療法各論II	○				60		60	2
		音楽療法各論III	○					60	60	2
	必修技能	技能I		○		60			60	2
		技能II		○			60		60	2
		技能III		○				60	60	2
	必修演習・実習	実習I・演習I			○		30	30	60	2
		実習II・演習II			○			60	60	2
		実習III・演習III			○		30	30	60	2
実習IV				○	30	30	30	90	2	
必修	卒業論文	○					120	120	4	
小計					270	270	390	930	30	
医学・心理学分野	必修	医学概論	○				60		60	2
		臨床医学各論I	○					60	60	2
		臨床医学各論II	○			60			60	2
		臨床心理学I	○			60			60	2
		臨床心理学II	○					60	60	2
小計					120	60	120	300	10	
福祉・教育分野	必修	社会福祉概論	○			60			60	2
		発達心理学	○				60		60	2
		障害児教育	○				60		60	2
		介護概論(介護職員初任者研修)	○	○	○		120		120	4
小計					60	120	0	300	10	
語学	必修	英語I	○			60			60	2
	選択	英語II	○				60		60	2
		英語III	○					60	60	2
		オーラルコミュニケーション	○				60		60	2
小計					60	120	60	240	8	
その他	選択	キャリアデザイン			○			60	60	2
		体育		○		60			60	2
		教育原理	○				60		60	2
		ライティング	○					60	60	2
		ピアノII		○			60		60	2
		特別活動		○				60	60	2
		音楽療法士補対策	○					60	60	2
		論文輪講	○					60	60	2
		声楽II		○			60		60	2
		器楽II		○			60		60	2
		合唱II		○			60		60	2
		合唱III		○				60	60	2
		合奏II		○			60		60	2
		合奏III		○				60	60	2
		応接・マナー	○	○				60	60	2
		保育士対策	○				60		60	2
特別講義	○					60	60	2		
小計					60	420	540	1020	34	
合計					1170	1230	1350	3870	128	

※「選択」は日本音楽療法学会で示された科目内で、本学で開講している必修授業を表す



音楽療法士学科 課程表 (3年編入生)

医療職業実践専門課程									
音楽療法士学科 ※授業1単位=30時間									
科目名	授業分類			授業時間数				単位	
	講義	実技	実習	1年次	2年次	3年次	計		
音楽分野	必修	音楽通論	○			認定		0	4
		和声学	○			認定		0	2
		音楽心理学	○				60	60	2
		日本の音楽	○				60	60	2
	選択	編曲	○			認定		0	2
		伴奏法		○			60	60	2
		西洋音楽史	○			認定		0	2
		日本音楽史	○			認定		0	2
	必修実技	ソルフエージュ		○		認定		0	2
		ピアノI		○		認定		0	2
		声楽I		○		認定		0	2
		器楽I		○		認定		0	2
		合唱I		○		認定		0	2
		合奏I		○		認定		0	2
		指揮法		○		認定		0	2
	選択実技	ギター		○			30	30	2
		リトミック		○			60	60	2
	小計				0	150	150	300	36
音楽療法分野	必修理論	音楽療法概論	○			60		60	2
	必修基礎	音楽療法の理論と技法I		○		60		60	2
		音楽療法の理論と技法II		○			60	60	2
	必修臨床	音楽療法各論I	○			60		60	2
		音楽療法各論II	○				60	60	2
		音楽療法各論III	○			60		60	2
	必修技能	技能I		○			60	60	2
		技能II		○			60	60	2
		技能III		○		認定		0	2
	必修演習・実習	実習I・演習I			○		30	30	2
		実習II・演習II			○		60	60	2
実習III・演習III				○		30	30	2	
実習IV				○		30	30	2	
必修	卒業論文	○				120	120	4	
小計				0	390	450	840	30	
医学・心理学分野	必修	医学概論	○				30	30	2
		臨床医学各論I	○				30	30	2
		臨床医学各論II	○			60		60	2
		臨床心理学I	○			60		60	2
		臨床心理学II	○				60	60	2
小計				0	120	120	240	10	
福祉・教育分野	必修	社会福祉概論	○			60		60	2
		発達心理学	○				60	60	2
		障害児教育	○				60	60	2
		介護概論(介護職員初任者研修)	○	○	○		120	120	4
小計				0	60	240	300	10	
語学	必修	英語I	○			認定		0	2
	選択	英語II	○			60		60	2
		英語III	○			認定		0	2
		オーラルコミュニケーション	○				60	60	2
小計				0	60	60	120	8	
その他	選択	キャリアデザイン			○		60	60	2
		体育		○		認定		0	2
		教育原理	○			認定		0	2
		ライティング	○				60	60	2
		ピアノII		○		認定		0	2
		特別活動		○			60	60	2
		音楽療法士補対策	○				60	60	2
		論文輪講	○				60	60	2
		声楽II		○		認定		0	2
		器楽II		○		認定		0	2
		合唱II		○			60	60	2
		合唱III		○			60	60	2
		合奏II		○			60	60	2
		合奏III		○			60	60	2
		応接・マナー	○	○		認定		0	2
保育士対策	○				60	60	2		
特別講義	○					60	60	2	
小計				0	180	480	660	34	
合計				0	960	1500	2460	128	

※「選択」は日本音楽療法学会で示された科目内で、本学で開講している必修授業を表す